

9月定例会の概要……………2  
議決議案・議案賛否……………3  
一般質問（12人登壇）…4  
決算特別委員会……………16  
議案審議……………18  
請願審査……………19  
常任委員会活動報告……………19  
市民と語る会……………19  
議会改革特別委員会……………20  
議会の動き……………20

只越虎舞（釜石よいさ）

釜石市議会  
ホームページ  
はこちら→



# かまいし 市議会だより

令和6年  
9月定例会

No. 178



# 令和5年度決算賛成多数で認定

## 県立釜石病院の経営計画案を厳しく質す

9月定例会は、9月2日から9月20日まで、19日間の会期で開催しました。

初日には、市長報告、提案理由説明が行われ、11日からの一般質問には12人が登壇し、市政課題について議論を交わしました。

なお、17日には決算特別委員会を設置し、令和5年度一般会計決算ほか7件について審査を行い、全て認定すべきものと決しました。

今定例会に提出された市長提議案22件について、全て原案のとおり同意、承認、可決、認定しました。

また、請願審査1件は採択、議員提議案1件は可決されました。

### 市長報告

市長から、県が公表した岩手県立病院の経営計画の素案が報告されました。素案において、釜石医療圏に

関連することとして長年要望してきた県立釜石病院の建て替えについて、令和7年度から12年度までの期間内に現在地周辺を想定し、建て替えに着手されること  
が明記されました。また、釜石病院の位置づけとして「ケアミックス・連携強化」

型の基幹病院とされ、「機能集約・特化」型の基幹病院と連携して対応すると報告がありました。

### 一般質問

一般質問では、次期経営計画案と地域医療について、婦人科外来、分娩機能再開などの実現性や地域医療連携の進捗状況のほか、市民への周知方法について質すなど、変遷して行く釜石圏域の医療への質問が活

者支援、地域おこし協力隊等広範にわたる質問があり、期待される当市の産業の未来が語られました。

### 決算審査

令和5年度は、市民生活の安定と地域経済の発展を目指し、多岐にわたる施策が盛り込まれました。当市が持続可能な未来を見据えた予算編成を行ったものであり、コロナ禍からの回復を、更に推進しつつ脱復興と地域の自立を目指す内容となっております。一般会計決算の歳入歳出からの実質収支は、1億6千万円余りの黒字決算となりました。過去2年間は、新型コロナウイルス感染症対策が主要な課題でしたが、令和5年度はこれに加え、脱復興と物価高騰対策やエネルギーコスト上昇等新たな経済課題に直面する中、釜石市はコロナ後の市民生活の正常化と地域経済の進展に取り組みまし

# 議 決 議 案

本定例会に提出された全ての議案はこちらからご覧いただけます。



## 9月定例会

議案番号	議案名	審議結果		
請願第4号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2025年度政府予算に係る意見書採択を求める請願書	採択	多数	
報告第5号	令和5年度釜石市健全化判断比率及び公営企業資金不足比率の報告について			
議案	第50号	令和6年度釜石市一般会計補正予算(第2号)の専決処分に関し承認を求めることについて	承認	全員
	第51号	令和6年度釜石市一般会計補正予算(第3号)の専決処分に関し承認を求めることについて	承認	全員
	第52号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	全員
	第53号	釜石市個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
	第54号	釜石市手数料条例の一部を改正する条例	可決	全員
	第55号	釜石市子ども・妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正する条例	可決	全員
	第56号	釜石市ひとり親家庭医療費給付条例の一部を改正する条例	可決	全員
	第57号	釜石市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	全員
	第58号	釜石市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全員
	第59号	釜石市復興まちづくり基金条例を廃止する条例	可決	全員
	第60号	令和6年度釜石市一般会計補正予算(第4号)	可決	全員
	第61号	令和6年度釜石市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	全員
	第62号	岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて	可決	全員
	第63号	釜石市教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて	同意	全員
認定	第1号	令和5年度釜石市一般会計歳入歳出決算	認定	多数
	第2号	令和5年度釜石市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	多数
	第3号	令和5年度釜石市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定	多数
	第4号	令和5年度釜石市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	多数
	第5号	令和5年度釜石市魚市場事業特別会計歳入歳出決算	認定	多数
	第6号	令和5年度釜石市水道事業会計決算	認定	多数
	第7号	令和5年度釜石市公共下水道事業会計決算	認定	多数
	第8号	令和5年度釜石市漁業集落排水事業会計決算	認定	多数
議議案第3号	釜石市議会個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例	可決	多数	

議案の賛否 (○は賛成、×は反対、一は棄権、休は休み。議長は参加いたしません)

	深澤	佐藤	井筒	菊地	村田	工藤	遠藤	三浦	磯崎	古川	野田	高橋	細田	山崎	佐々木	千葉	佐々木	菊池	賛成	反対	棄権
請願第4号	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	一	×	×	×	一	×	○	9	7	1
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	一	○	○	16	0	1
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	一	○	○	16	0	1
認定第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	一	○	○	16	0	1
認定第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	一	○	○	16	0	1
認定第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	一	○	○	16	0	1
認定第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	一	○	○	16	0	1
認定第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	一	○	○	16	0	1
認定第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	一	○	○	16	0	1
議議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	一	○	○	16	0	1



細田孝子 (公明党)

細田議員の動画はこちら



質問項目

- ・ 地域医療の整備について
- ・ 高齢者支援について
- ・ マイナンバーカードについて
- ・ 市民の平和学習について

# 耳のフレイル予防に簡易検査の導入を

## 先進事例を学び効果的に取り組みたい

**議員** 耳のフレイルを放置することは、健康や生活の質に大きな影響を与え、認知症につながるリスクも高いことである。

しかし、当市が掲げるフレイル予防の3つの柱では、耳のフレイル予防に触れていない。改めて、当局のヒアリングフレイル予防の認識について伺う。

**保健福祉部長** ヒアリングフレイル予防は3つの柱に加えて重要な取組であると認識している。今年度から聞こえの具合を確認できるチェックを市ホームページ等に紹介し、状況に応じて

耳鼻咽喉科への受診や相談につなげるよう努めている。

**議員** ヒアリングフレイル予防には、リストによる自己チェックに加えて、アプリを使った簡易検査を導入し、自分の語音聴取率の状態を知ること、受診が必要な方への後押しになり、効果的であると思うが。

**高齢介護福祉課長** 先進的な事例を学びながら、より効果的な取組にしていきたい。

### 市民への平和学習

**議員** 終戦から79年を迎え、戦争を知る方々が減り

つつある今、市民に戦争の事実と、その体験を通しての学びや教訓をどう活かし継承していくのか。

**総務企画部長** これまで、

市および市民レベルで取り組んで来た平和に対する取組を絶やすこと無く着実に全世代に継続していくことこそが、後世への継承につながるものと考えている。

**議員** 沖縄市では、ホームページに平和学習コンテンツサイトを設け、市民

に対し平和学習についてまとめたものを紹介している。当市においても平和の取組をまとめたサイトがあ

ヒアリングフレイル：聴覚機能の衰えのこと。

とても良いのではないかと

**総務課長** 当市では、平和

について子どもから大人までの取組を行ってきており、現在、児童生徒が初段階で経験するという部分で、釜石市の中学生と青森市の中学生の交流事業を行っている。その成果や感じたことを市民に知っていた

だけ、さらに市民が享受して平和の大切さを感じるといった関係性を築くために公開は有効な手段の一つと捉えている。今後、沖縄市や他自治体が平和の取組をどう公表し周知しているのか、今一度、調査研究していきたい。



郷土資料館で開催された戦災企画展

# 今後の地域医療について市民に説明を

## 10月に地域医療フォーラムを開催

**議員** 次期経営計画の素案がまとめられたことを受け、県立釜石病院の建替えと、今後の地域医療の方向性を市民に対して説明会を開催し、市民との対話を進めることが重要では。

**保健福祉部長** 岩手県立病院等の経営計画素案は、医療資源の限界と人口減少に対応し、地域医療の持続可能な体制を構築するために策定された。計画は、医療の高度化と経営基盤の安定化を目指し、12月末に確定予定である。当市は、住民の理解と意見反映を重視し、県医療局に丁寧な説明

会の設定を要請。さらに10月に「地域医療フォーラム」を開催し、市民の意見を反映させる取組を進める。

**議員** 59円の最低賃金引き上げは地域経済の活性化につながるが、物価高騰と円高の影響下では新たな負担となる。対応が難しい事業者は人員削減の可能性があり、賃金引き上げの目的が達成されない懸念がある。地場企業の「稼ぐ力」の向上が必要であるが、今後の伴走策と当局の見解は。

**産業振興部長** 最低賃金の引き上げにより、岩手県の最低賃金は1時間あたり

952円となり、早ければ10月27日に発効予定である。しかし、賃上げによる事業者への負担は大きく、特に小規模事業者にとって

は人件費増加が経営に深刻な影響を与える可能性がある。市は「導入促進基本計画」を策定し、設備投資を通じた労働生産性向上を支援。また、商工会議所や産業育成センターと連携し、事業者の生産性向上と持続的な賃上げのサポートに努める。

**議員** かまいしエール券に替わる新たな地域内消費を促す施策は。

**産業振興部長** 釜石市では、コロナ禍や物価高騰に対する支援策として「かまいしエール券」を6回実施し、地域経済の活性化に寄与してきた。しかし、これらの施策は特例的な財源に

依存しており、恒常的な実施は困難である。今後は、オンラインショップの活用や「かまいしライブ」アプリのクーポン施策など持続的な消費促進策に力を入れていく。



建て替えが予定されている県立釜石病院



菊地 広 隆  
(創政会)



菊地議員の動画はこちら

### 質問項目

- ・事業者支援について
- ・医療体制の在り方と情報提供の姿勢について



菊池 秀明  
(令和クラブ)

菊池議員の  
動画はこちら



質問項目

- ・甲子地区の活性化について
- ・交通機関を利用する児童生徒について

# 道の駅釜石仙人峠の改築・改善は

## 大規模な修繕等の計画はない

**議員** 甲子地区都市計画

マスタープランにおいて「宅地内狭あいな生活道路の改善を図っていく」、事業進捗状況や整備計画は。

**市長** 甲子小学校前の拡

幅や舗装のカラー化の整備を行う等、緊急度、優先度を見定めて道路改良事業等を実施。また、生活道路は、緊急度、優先度を適切に見極めて、安全・安心を最優先とした整備に努める。

**議員** 旧大松小学校の校舎及び体育館について、今後の活用の方向性は。

**総務企画部長** 施設の老朽化が進む中で、利用者の事

故を未然に防ぐためにも、

体育館や旧校舎全体は、可能な範囲で修繕を行い施設の維持管理に努める。

**議員** 農家や家庭菜園に被害を及ぼす二ホンザルの状況と今後の対策は。

**産業振興部長** 平成26年度調査の生息数29頭から5頭増えている。群れの所在状況や行動範囲を把握し、追い払いの励行や金網、電気柵、複合柵の設置及び誘因物となる放置果樹の伐採など長期的な視点で取り組む。

**議員** 釜石仙人峠マラソン大会の応援や協力体制、参加者の期待は。

**文化スポーツ部長** 甲子地域会議等、釜石市で構成された実行委員会を組織し運営を行っており、協力体制や沿道から走者へ応援体制は整っており、昨年度並みの参加者となる見込み。

**議員** 道の駅釜石仙人峠は、全てにおいてコンパクトに感じているが、改築・改善の考えは。

**産業振興部長** 施設の大きさや設備が施設の維持管理費にも影響し、大規模な修繕等が必要な状態ではないことから計画を検討する状況ではないと考える。

**議員** 児童生徒数の減少を見据え、通学用バスの通学距離の見直しは。

**教育部長** 条件を緩和し利用人数が増加した場合の通学用バスの確保や運行調整に加え、運行に係る経費増などから現行で運用する。

**議員** 交通機関で通学する小中児童生徒数と高校生

を含む通学補助状況は。

**教育部長** 公共交通機関利用の小中学生生徒数は132人と把握し、当市の通学費支給補助はない。一方、県の負担軽減制度を活用し、通学での三陸鉄道や県交通バスの利用は、令和9年3月まで通学定期券を半額で購入することが可能である。



道の駅釜石仙人峠

# いじめの認知件数の推移は

## 令和5年度は前年度比86件の増加

**議員** 令和4年度のいじめの認知件数は、小学校45件、中学校17件で計62件。前年度に比べて1件の増加だったがその後の推移は。

**教育長** 令和5年度は小学校137件、中学校11件で計148件。前年度に比べて86件の増加だった。増加の要因は学校が初期段階のいじめを組織として把握し、見守り、早期に指導し解決につなげようとしている結果と捉えている。

**議員** いじめの早期発見については、「いじめ防止法」よって10年も前から要請されていたはずだが、今

になって早期発見ができるようになったのか。

**学校教育課長** 早期発見はこれまでも各校にお願いして来ているが、「もしかしたらないいじめかも」という兆候も丁寧につまみ分け、最近認知する呼びかけを、最近各校に強く求めている。

### 警察と教育委員会の連携

**議員** 文科省から、教育委員会と警察との連携等の徹底に関する通知があったが、市の教育委員会ではどのような対応を取っているのか。

### 林業の振興と助成

**議員** 森林環境譲与税は、釜石市ではこれまでに森林所有者が間伐や除伐を行うときには利用されていないようだが、森林経営管理制度による意向調査とは関係なく利用できるものか。

**教育長** 教育委員会では校長会議において、犯罪行為として扱われるべきいじめや、学校での対応が難しい場合には、警察に相談し連携して対応するよう指示している。実際に、SNSによるいじめについて、警察に相談した事例がある。

**議員** 森林環境譲与税は、釜石市ではこれまでに森林所有者が間伐や除伐を行うときには利用されていないようだが、森林経営管理制度による意向調査とは

関係なく利用できるものか。

再委託する森林のいずれでなくても、環境譲与税を原資として間伐・除伐に利用することは可能である。ただ、全県的に前例が乏しいため、伐採内容や伐採率等の条件に注意しながら慎重に進めていきたい。



豊かな森林、森林経営には間伐・除伐を

いじめの認知件数：「認知件数」とは、被害児童生徒に対して起きたいじめの中で、1回目起きたものを数えている。「発生件数」とは、被害児童生徒に対して起こったいじめをすべてを数える。



野田 忠 幸

(21世紀の会)



野田議員のこちら動画

### 質問項目

- ・ 林業の振興と助成について
- ・ いじめ問題とその周辺の課題について



三浦 一 泰  
(民政クラブ)

三浦議員の  
動画はこちら



質問項目

- ・ 地域医療について
- ・ 温室効果ガス削減について

# 釜石地域の今後の医療体制は

## 医療体制が大きく変わるものではない

**議員** 釜石地域の医療体制は、今後どのように変わるのか。

のか。

**地域医療対策室長**

県医療局

からは、県立病院の機能や

**保健福祉部長**

当保健医療

圏においては、高度・専門

的ながん医療について既に

県立中央病院などの拠点病

院にて対応されており、高

度・専門的な周産期医療、

脳卒中及び心疾患医療につ

いても、既に大船渡病院と

連携し対応しているのです

次期計画の策定によって、当

保健医療圏における現在の

医療体制が大きく変わるも

のではないと認識している。

**議員** 県立病院と民間4

病院の役割分担はどのような

病床規模は周辺の医療資源

の状況や、今後の医療需要

の見込みなどを踏まえて総

合的に検討すると言われて

いる。令和7年度に釜石地

域の関係病院と協議を重

ね、必要な機能や病床規模

を決定していきたいとのこ

とから、計画が策定された

後、改めて協議の場が設け

られると認識している。

**議員** 地域医療への市の

役割は。

**地域医療対策室長**

県立釜石

病院と経営計画の素案に対

し、可能な限り市民の皆様  
の意見を反映させていく。

また、地域医療連携推進

法人の速やかな設立に向け

て関係する医療機関と協力

しながら取り組んでいくこ

とが現時点での役割である

と考えている。

**議員** 医師の行為ができ

る診療看護師の育成も考え

ては。

**地域医療対策室長** 診療看護

師の役割としては、医師不

足の解消や医師の負担軽

減、チーム医療の強化に寄

与するものと認識してい

る。市内医療機関における  
診療看護師のニーズを把握

しながら、今後予定されて  
いる地域医療連携推進法人  
の設立に向けた検討会の機  
会を利用し、状況確認等も  
含め意見交換を行うことも

に、他自治体の支援状況等

も考慮し支援の在り方につ

いて考えたい。

**議員** 宮古市では、再生

可能エネルギー推進条例を

制定し地元企業が参入しや

すい仕組みをつくってい

る。釜石市でも考えてはど

うか。

**ゼロカーボン室長** 宮古市の

エネルギー環境部と意見交

換を行いながら好事例を参

考に当市の仕組みづくりを

進めたい。



医療の充実が期待される  
県立釜石病院

# ひきこもり者の実態と支援は

## 継続的に支援事業を実施したい

議員

内閣府は昨年(2022年度)「こども・若者の意識と生活に関する調査」の結果を公表している。その調査によると、ひきこもり状態にある人は15歳から39歳で2・05%、40歳から64歳で2・02%存在し、現在の人口に当てはめてみると、約146万人と推計されるのではと考える。

た。ひきこもり者の実態と、支援について伺う。

市長

ひきこもりは、様々な要因によって就学、就労及び家庭外での交友といった社会的参加を回避し、原則として6ヶ月以上にわたって概ね家庭に留まり続けている状態を指す現象・概念と定義されている。

把握した状況では、全ての世代において、一定割合がみられるが、団塊ジュニア世代の40代、50代の比率が比較的高い割合となっている。対応としては、令和元年度に「ひきこもり支援に係る庁内連絡会」を設置し、ひきこもりの相談を受ける機会の多い保健師を中心に、事例の共有や検討を行い、支援に結び付ける体制づくりを進めてきた。ケースバイケースで支援の方法が異なり、長期支援が必要となることから、相談を受けた支援者が孤立しないよう、分かち合いの

機会とすることを目的に、岩手県ひきこもり支援センターや障がい者相談支援事業所からも助言を受けている。支援は出会いと評価段階における家族支援から始まり、当事者への個人的支援段階に移行し、次にデイケアや居場所のような中間的・過渡的な集団との再会

段階を経て、就学・就労を中心とした社会参加の試行段階へと各段階を一段一段上っていくプロセスが必要となる。重層的支援体制整備事業において、今年度はアウトリーチ等を通じた継続的支援事業を実施することとし、支援体制づくりに努めたい。

調査結果を見ると、既にシニア層のひきこもり人口の方が多くなっている。ひきこもりはもはや、青少年に限定されない全年齢層において生じ得る現象であることが改めて確認され

た。本市においては、平成30年度に岩手県が実施した「地域住民の社会参加活動に関する実態調査」に加え、民生・児童委員や各地区生活応援センターの相談案件から、ひきこもり状態とみられる約30名の方を把握し

てい。把握した状況では、全ての世代において、一定割合がみられるが、団塊ジュニア世代の40代、50代の比率が比較的高い割合となっている。対応としては、令和元年度に「ひきこもり支援に係る庁内連絡会」を設置し、ひきこもりの相談を受ける機会の多い保健師を中心に、事例の共有や検討を行い、支援に結び付ける体制づくりを進めてきた。ケースバイケースで支援の方法が異なり、長期支援が必要となることから、相談を受けた支援者が孤立しないよう、分かち合いの



シイタケの菌床栽培、今後ひきこもり等の社会参加の対策になる

山崎 長 栄  
(公明党)



山崎議員のこちら動画は

### 質問項目

- ・ひきこもり者への支援について
- ・地区防災計画について
- ・水道事業について



磯崎 翔太  
(創政会)

磯崎議員の  
動画はこちら



### 質問項目

- ・教育行政について
- ・環境施策について

## 財源の掘起しで給食費完全無償化を

### 段階的实施も視野に入れて検討

**議員** 市長は子育て支援を公約に掲げている。財政を建て直しつつ、給食費の完全無償化を実現してほしい。現在は第3子以降が無償化されている給食費だが、完全無償化事業について、一般財源を基に実施できる可能性は。

中で、段階的な実施も視野に検討していく。

**議員** 宮城県利府町では、進学等を考えて出費が多くなる小6と中3を無償化の対象として拡大し、財源はふるさと納税を充てている。当市でも同様の拡充をした場合の推定追加予算額は。

**議員** 本年の実態で計算すると、追加予算額の想定は2200万円程度を見込む。

金等を通じた社会保障による再分配を受ける機会が多く、自立的な生活基盤を失ったとしても生活保護を受給しやすい年代でもある。納税に対して、適切な市民サービスで報いることが自治体の責務だ。令和5年度一般会計決算について、計上した予算を有効に活用しきれない事業や施策が散見される。極めて簡単に見積もったとしても、数億円規模になる。財政の建て直しも重要な視点だが、財源の掘起しも検討すべきだ。事業実態に見合った予算計上を行い、真に必要な

事業に財源を投じることは首長の責務だ。給食費の完全無償化について市長の覚悟を問う。

現在、令和7年度の予算編成を検討している段階だが、本年度の予算編成よりもかなり厳しい内容になることを想定している。市民サービスの低下は絶対に避けつつ、事業の精度を見直すように指示しており、財政との調整を踏まえつつ、検討している段階にある。

**市長** 財政調整基金などを取崩して予算編成を行っていることは周知の事実である。現在の取崩し額で将来の予算が編成できるか、という点も議論している。

現在、令和7年度の予算編成を検討している段階にある。

**教育部長** 給食費の完全無償化は、子育て支援に関する事業として、当市においても優先順位は高い事業だ。完全無償化には、年間で8500万円程度の経費が必要となり、一般財源での実施は厳しいと考える。財政の健全化を進めていく

段階の多くは子育て世代に該当し、所得税や消費税などを通じて納税する機会が多い。一方で、高齢者は年

金等を通じた社会保障による再分配を受ける機会が多く、自立的な生活基盤を失ったとしても生活保護を受給しやすい年代でもある。納税に対して、適切な市民サービスで報いることが自治体の責務だ。令和5年度一般会計決算について、計上した予算を有効に活用しきれない事業や施策が散見される。極めて簡単に見積もったとしても、数億円規模になる。財政の建て直しも重要な視点だが、財源の掘起しも検討すべきだ。事業実態に見合った予算計上を行い、真に必要な



釜石市学校給食センター

# 浜町地区に多目的集会所を

## 既存施設の有効利用を視野に検討

**議員**

かつて釜石は大企

業の発展に伴い、近隣の市町村から多くの住民が働き手として来釜した。そのよ

うな状況のなかで当時、法の規制も厳しくなく人々の住まいは山間部、河川敷付近等の空き土地が利用されたという。その後、大企業の縮小等が主たる要因で人口減少、住まいの空き家が

992戸確認、相続人など

に除去等を依頼した結果、19戸が解体、現在973戸の空き家を確認。空き家に関し、飛びそうな屋根、草木の繁茂への対応等、所有者の適性管理に関する相談が令和5年度は46件あり、相談件数は増加傾向だ。所有者等に対し早期の適性管理を促す文書や、随時電話連絡等の対応、納税通知書に空き家の適性管理のチラシ等も同封している。令和5年度から空き家の除去に向けた取組強化のため、危険空き家除去工事補助金を創設、これまで4件の危険

空き家が除去された。増加する空き家等は地域住民の生命や財産生活環境に影響を与えるだけでなく、まちづくりやコミュニティ維持、経済的・社会的活動の促進にも深刻な影響を与えている。税金にも少なからず影響があるとの認識だ。

**議員**

浜町以東、かつては魚の町として栄え多くの人々が、釜石に出入りするとき、北側から駕籠(かご)に乗り鳥谷坂(とやさか)峠を往来した場所、釜石発展の礎でもあった。地形からも風光明媚なところでも多くの人々からも親しまれた

地域文化・郷土芸能でも伝承の源。さらに市内に点在する幼児教育の中でも理解し活かされている。一方、同地区災害復興で造成された土地に空き地が多い。このような歴史・文化の発祥地にふさわしく、多目的に活用できる集会所を建設すべきでは。

産業振興部長 浜町周辺への多目的集会所の建設について、地域住民の意見を伺いながら、公共施設の適切な配置を念頭に人口や地域の実情に見合った施設の集約化、多機能化等、既存施設の有効利用を視野に入れて検討していく。



有効活用される造成空き地



高橋 松一  
(令和クラブ)



高橋議員のこちら動画は

### 質問項目

- ・市内の空き家対策について
- ・浜町地域の墓地の整備について
- ・浜町周辺地区への多目的集会所の建設について
- ・副市長二人体制について



佐藤 憲弘  
(民政クラブ)

佐藤議員の  
動画はこちら



質問項目

- ・防災行政について
- ・水産行政について

# 魚のまち復活への目標水揚金額は

## 適切な目標金額の把握に努める

**議員** 第六次釜石市総合計画には魚のまち復活に向けてとあるが目標水揚額は。

**市長** この計画に掲げた魚のまちとは、当市の歴史的背景や築き上げてきた文化を踏まえ、厳しい環境が

続く水産業の活性化に取り組み、市内外からの認知度向上を図り魚をより身近に感じられるまちになることである。魚市場の経営再建に向け、県漁連が実施した調査・分析では、年間水揚金額15億円から18億円が損益分岐点で、海洋環境の変化から天然資源の急激な回復による水揚げ増加や秋サ

ケに依存してきた定置網漁業に光明を見出すことは困難である。

今後は、現在の水揚げ規模に即した運営体制の構築や施設・機能集約など抜本的な経営改革を進める。

本市としては、適切な目標水揚高の把握に努める。

**議員** 3漁協の財務差異を縮小するため、3漁協とも国の補助金事業を活用すべき、合併スケジュールどりの日程は厳しいのでは。

**水産農林課長** 3漁協ががんばる漁業復興支援事業に取り組んでいく計画の方向性は県漁連とも共有し、承

認を得て取り組んだ上で合併も同時平行で進める。

**議員** 魚市場に体制、経営を改善するための人材を派遣した方が良いのでは。

**水産農林課長** 県漁連、市漁連と相談、協議しながら検討する。

**議員** 津波避難時に車での避難者はゼロにはならない。渋滞緩和のために釜石駅前の国道の2車線化の要望をしたことはあるか。

**危機管理監** 徒歩避難者の避難行動を阻害することが予想され、確実に命を守るため、原則徒歩避難であることから、要望を行ったこ

とはない。

**議員** 企業の東門付近の高台へ避難を促す看板が目立っていないのでは。

**防災危機管理課長** 日常は企業の管理下であり、一般の方が自由に入入りできない。ただし、津波警報発令時には一般の方が避難できる。この企業では津波警報

発令時には、大型看板を東門入口付近に臨時で設置するご配慮を頂いている。

**議員** エアコンの無い避難所の今後の暑さ対策は。  
**防災危機管理課長** 避難所の多くは小中学校体育館、暑さが予想される時は、冷房設備のある教室を開放する。



津波浸水域外へは一車線

# 地域おこし協力隊に係る行政の役割は

## 各団体と協議会を組織し、支援を実施

**議員** 企業、行政、NPO、学校、地域等の人や組織をつなぎ、連携、協働、共創を目指す地域おこし協力隊の活動状況は。

**市長** 地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、一定期間地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発、販売、PRなど地域おこしの支援や農林水産業への従事、住民の生活支援等の「地域協力活動」を行いながら、その地域へ定住、定着を図っている。令和元年度からは、市の会計年度任用職員とし

て任用している「行政型地域おこし協力隊」を、令和3年度からは個人事業主として活動している「担い手型地域おこし協力隊」をそれぞれ募集し、現在は8人が活動している。「担い手型地域おこし協力隊」では農業や林業、田舎暮らしの発信を行っており、遊休農地を活用した調理用トマト「すずこま」の栽培や栗林小学校児童への栽培指導、「すずこま」を100%使用したトマトジュースの開発、狩猟、古民家改修等、田舎暮らしの様子や地域の魅力を動画配信サイトを活

用して情報発信している。ラベンダーを活用した商品開発、市民農園を活用したコミュニティづくり、魚食普及の活動、市内鮮魚店へのSNS活用支援、サクラムスのPR、ラグビーを活かしたスポーツまちづくりやボランティア育成等、地域の皆様や市内の企業・団体と連携して活動している。「行政型地域おこし協力隊」は市の各担当課に在籍し、それぞれ担当する業務を行っている。「教育魅力化コーディネーター」は市内の高校と地域、行政を繋ぎ、高校生と地域課題に

ついて一緒に考え、高校生の主体性を育む伴走活動を行う。「観光地域づくりコーディネーター」は観光関連団体、事業者等と連携し、観光客誘致イベント開催や教育旅行の誘致による関係人口の創出を図っている。

**議員** 地域おこし協力隊として多様な人材を募集しているが、行政の役割は。

**市長** 担い手型地域おこし協力隊の採用や受入れ活動に対するサポートなどは、市と釜石商工会議所、その他関係団体によって組織される「釜石市地域おこし協力隊協議会」が担い、役割分担しながら進める。

「地域おこし協力隊」は都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組。



地域おこし協力隊活動報告会



古川 愛明  
(創政会)



古川議員の  
動画はこちら

### 質問項目

- ・産業振興行政について
- ・教育行政について
- ・建設行政について
- ・総務企画行政について



村田 信之

村田議員の動画はこちら



質問項目

・釜石市の林業と森林管理について

# 林業と建設・福祉などとの連携は

## 「林福連携」の支援を模索

**議員** 釜石市における林業は、地域の安全と自然環境の維持に重要であるが、現状には多くの課題がある。建設業者が林業に参入しやすい環境整備について、具体的な施策はあるか。

**水産農林課長** 建設業者が重機や大型車両の操作に慣れていることが参入のきっかけになるが、林業独自の機械操作習得が課題である。

**議員** 林業と福祉の連携をさらに拡大できないか。

**水産農林課長** 「林福連携」の支援を模索中である。自伐型林業家と連携し、釜石産木材を活用した商品化する。

どの取組を進めている。今後、森林環境譲与税を活用し、複合的な支援策を関係団体と協議していく予定だ。

**議員** 自伐型林業に環境譲与税からの補助金を出せるか。

**水産農林課長** 支援・補助は可能だが、短期離職を防ぐために教育支援が必要だ。他市では3年の研修後、新規参入支援を行う事例がある。当市でも移住者が自伐型林業家として活躍しており、意見交換を通じて支援策を検討していく。

**子ども家庭課長** 森林環境譲与税を活用し、「保育園留学」や「森のようちえん」のプログラム運営が可能であると理解している。

### 森林整備は保育や教育にも有効

**議員** 「林業体験ツアー」や「森のようちえん」の取組は可能か。

**議員** 林業分野に地域おこし協力隊を獲得できないか。

**オープンシティ主幹** 令和4年度から「担い手型地域おこし協力隊」の募集を開始し、現在も募集中である。

**森林環境譲与税**：森林の適切な整備や保全を目的に、国から自治体へ配分される税金である。自治体はこれを活用し、地域の森林管理や環境教育に取り組む。

**自伐型林業**：個人や小規模事業者が森林の所有者と契約し、その森林を管理・伐採しながら、持続可能な形で林業を行う手法。

**議員** 林業事業者への新規採用者は何名か。

**水産農林課長** 今年度は釜石高校と県内大学から各1名ずつ採用され、いずれも当市の「林業の担い手確保・人材育成事業」を契機に就業に至っている。

**議員** 鶴住居の「釜石市千年の森」は、条例化して

保存活用することを定めている。これからの森林活用施策も条例に定めてはどうか。

**産業振興部長** 事業者との連携や安全なまちづくりは、本場に必要だ。その取り組みを進めながら、条例化については状況を見極めながら判断をしていきたい。



自伐型林業の作業現場。まずは軽トラック1台分の作業道を整備

# 自衛隊への名簿提供に除外申請は

## 他市町村を参考に検討していく

**議員** 2022年度に自衛官募集のために、住民基本台帳に記載されている氏名、生年月日、性別、住所の個人情報

を自衛隊に提供した自治体は、1747自治体中1068自治体になっている。勧誘チラシの郵送が目的で、高校を卒業する18歳と大学を卒業する22歳が対象となっているが、市の対象者の名簿提供はあるか、また本人からの同意のもと提供されているか。

**市民生活部長** 自衛隊法施行令第120条に基づく提供依頼に応じて、自衛官及び自衛官候補生の募集のため住民基本情報を提供している。個人情報保護に関する法律第69条第1項の「法に基づく場合」に該当すると見解が示されていることから、本人からの同意は求めている。

**議員** 実際当市の高校生に自衛隊の勧誘の文書が届いているか把握しているか。  
**市民課長** 届いているかどうか把握はしていない。

**議員** 行政としては、まず名簿を提供していることを広報紙やホームページ等で知らせること、そして情報提供を望まない対象者への除外申請の案内も必要

**議員** 令和5年「地域防災計画」では「土砂災害が発生する恐れのある区域では、一定の開発行為制限や住宅移転を促進する」としているが取組と成果は。

**危機管理監** 土砂災害を防止するための主な事業は、県が実施している「砂防事業」と「急傾斜地崩壊対策事業」等がある。令和5年

ではないか。

**市民生活部長** 他市町村を参考にしながら検討していきたい。

### 防災行政について

度末現在、土石流危険渓流の要整備箇所数240か所中、整備済み箇所44か所、整備率18%、急傾斜地崩壊危険箇所の要整備箇所数329か所中、整備済み68か所、整備率21%である。

**議員** 防災行政無線は、大雨、台風などで放送内容が聞こえにくい状況にもなるが戸別受信器の所有件数は。 **防災危機管理課長** 貸出貸与件数は1831台で、今年度2度目の貸与希望への案内を9月15日号の広報紙で案内をする予定だ。



防災無線戸別受信機



深澤 秋子



議員のこちら  
動画は

### 質問項目

- ・防災行政について
- ・保健福祉行政について
- ・小型艦艇の寄港地について
- ・個人情報保護について

# 決算特別委員会

決算特別委員会は議員全員で構成し、委員長に高橋松一委員、副委員長に三浦一泰委員を選出し、9月17日から4日間にわたり、一般会計決算のほか、各特別会計決算の計8件の審査を行いました。

審査の結果、各会計いずれも認定としました。

## ▽一般会計

歳入 240億851万29円  
歳出 233億334万2724円

## ▽水道事業会計

収益的収入 7億157万6768円(税抜)  
収益的支出 6億6583万5203円(税抜)  
資本的収入 2億8975万6187円  
資本的支出 5億4226万8818円

## ▽下水道事業会計

収益的収入 13億8086万6513円(税抜)  
収益的支出 13億4836万9871円(税抜)  
資本的収入 5億1291万6974円  
資本的支出 7億8342万2920円

決算特別委員会の映像はこちらから



## ▽特別会計(4会計合計)

歳入 85億4862万646円  
歳出 84億9677万9393円

## ▽漁業集落排水事業会計

収益的収入 5179万8376円(税抜)  
収益的支出 5052万3644円(税抜)  
資本的収入 1018万4700円  
資本的支出 1794万7322円

### 使用料・手数料

**問** 市営住宅の入居契約では保証人も民間保証会社の保証もないようだ。保証人を「付けないと良い」とされているが、「付けてはいけない」という規制はない。滞納に備えて保証を付けるべきではないのか。

**答** 国からの通知もあり、生活困窮者が入居しやすいうように数年前から保証人を付けない契約にしている。近隣市町村の状況も確認して対応していきたい。

### 企業版ふるさと納税

**問** 企業版ふるさと納税で7社2800万円の寄付をいただいているが、もっと熱意をもって営業すると結果は違ってくるか考える。当局はどのような営業をしているか。

**答** 市役所内それぞれ企業の課で関わってきた企業をもう一度ピックアップし、そうした企業にどうアプローチすれば効果的か

考慮しながら営業していきたい。

### 防災行政無線整備事業

**問** 申し込み件数は。大雨などで聞こえない場合も対象か。難聴地域がかなり、事業の終了予定はあるか。

**答** 令和5年度は57件の申し込みに対し、キャンセル等もあり53台設置。両音で防災無線が室内でも聞こえづらい、ご自身の聴力の問題で聞こえづらいなど幅広く受付けている。当初3千世帯を目標値に事業を実施、令和5年度末まで1795台設置。

### DX推進事業

**問** 「書かない窓口」とAIチャットボットの効果は。

**答** AIチャットボットは令和5年度には1万42件の問合せがあり、正答率は約91%。電話問合せ換算で約300時間の業務削減効果があり、夜間や

土日でも利用可能である。「書かない窓口」は、高齢者が申請書を記入する負担を軽減し、転入等で申請書の枚数が多い場合にも有効で、利便性は向上している。

### マイナンバーカード取扱

**問** 令和5年12月から暗証番号の設定や管理に不安のある方の負担軽減策として、暗証番号を不要とする顔認証マイナンバーカードが導入された。利用範囲に縛りはあるが、この顔認証マイナンバーカードを周知、推進していくのか。

**答** 顔認証マイナンバーカードが導入されてから既に数件の申請がある。今後、広報や市ホームページで周知していきたい。

# 決算特別委員会

## ワーケーション推進事業

**問** ワーケーション施設整備補助金をかまいたDMCに交付したがワーケーションによる市内への経済効果はどれくらいなのか。

**答** 昨年度ワーケーション視察研修に1千人を超えの方が宿泊している。想定される直接消費推定額は約3千万円である。

**問** 新たな施設が整備されることで今後の経済効果については。

**答** 2割増を見込む。

**問** 避難行動支援対策

**問** 新規登録者数、登録者への再訪問頻度と課題は。

**答** 登録者数は188人だが流動的。令和3年度は23人、令和4年度は17人、令和5年度は9人の新規登録。登録者へは年に一度訪問し介護度の変化や健康状態を確認。個別避難計

画策定にあたり、支援者がみつからない。今後は個人での支援が難しいことから、町内会や自治会での対応をできないか検討する。

**医療・福祉人材確保**

**問** 奨学金利用者の推移は。返済は順調か。

**答** 奨学金は平成21年度から38人に貸し付けを行った。市内の医療機関や福祉機関に就労した場合は奨学金の返済が免除になっている。現在は市内で13人が就労しており、15人が市外に就職しているが、償還が滞りなく行われている。10人はまだ学生である。

**健康づくり応援事業**

**問** みんなの健康づくり応援事業・健康寿命日本一はじめの一步プロジェクト事業の内容と成果は。

**答** 個人の健康づくりに対して健康チャレンジポイントを付与する事業だ。運動を始めるきっかけづくりに取り組み、スポー

ツクラブに通った方の86%が3ヶ月以上継続しており、82%の方がBMI、体脂肪、筋肉量のいずれかに改善があった。

**保健福祉センター維持管理**

**問** 保健福祉センターの維持管理費の推移及び利用料等の収入状況は。また、莫大な維持管理費の計上は妥当か。

**答** 令和5年度の維持管理費については1千万円程度減少しているほか、賃料1800万円、光熱水費等6千万円程度の収入がある。保健福祉部も新庁舎に入居することを前提に考えれば、センターの在り方や維持管理についても検討しなければならない。

**児童健全育成事業**

**問** 当市の学童育成クラブ定員数のオーバーはないか。甲子は2007年に建設され、良い環境ではないが改善は。また、保育環境改善は低中

高学年別の教育環境を整えるべきでは。

**答** 学童育成クラブの定員オーバーはない。甲子の保育環境改善は空き教室使用及び教育保育施設を使用した運営を検討中。働く女性が83%と共稼ぎする夫婦が安心して子どもを預ける環境を作っていく。

**地域雇用サポート事業**

**問** 131名の方が就労に繋がっているが、費用対効果をどのように捉えているか。

**答** 3千万円弱の予算の中で、市内商業施設の一部を借用している。利用者の利便性を優先しており、個人に対するサポートだけでなく、企業向けのセミナー等も開催できることからメリットはある。費用過多の指摘もあるが、成果を伸ばす一層の努力を行う。

**釜石市魚市場**

**問** 当市の水産振興には漁協合併が喫緊の課題

だ。当事者間の熱量の差を感じるが、進捗状況は。

**答** 漁協合併については現時点でその成果を示すには至っていないが、新たな取組として、3漁協とも「がんばる漁業復興支援事業」を適用、もしくは今後申請する動きがあり、この事業を基盤に各漁協が財務状況の改善を図り、先々の合併につながるものと認識している。

**観光施設等維持管理**

**問** 市としてシープラザを含め駅前の魅力づくりに対する考えは。

**答** 市としても駅前にはシープラザ、サンフィッシュがあり、施設の活用次第では新たな情報発信と交流を生み出せる拠点になれるエリアと考える。今後両施設をどう活用していくか市としても素案をまとめるために検討し、魅力を発信する場所にしていかなければならないと認識している。

# 決算特別委員会

釜石市民泊施設運営事業

**問** 民泊施設「御箱崎の宿」は、収入額250万円程度及び400万円の指定管理料で営業し、大幅赤字であることから今後の在り方は。また、運営の早期見直しが必要なのではないか。

**答** 現在、経営全般の見直しについて、改善を指定管理者と協議を始めており、あまり時間をかけずに結論を出し、今後の在り方を考えていく。

## 市道除排雪経費

**問** 決算額が予算額の約3倍になった理由は。

**答** 市道約150kmの除雪経費を見込み計画したが、除雪回数が22回、実施延長が延べ42.2kmと想定を超えて多かったため。

**問** これまで地域で行ってきた市道の除雪作業が、地域によっては高齢化により困難な状況にある。

行政による支援を検討すべきでは。

**答** 内陸部の自治体の取組を学び考えたい。

## ICT支援員配置事業

**問** 市内ではICT支援員1名のみで、小中学校合わせて14校を担当している。1名だけで本当にICTを活用し充実した学びが提供されているのか。

**答** ICT支援員の増員を望む声は学校からも多く、教育委員会内でもぜひ増やしたいと考えている。教員免許を所有する等、ICT支援員にふさわしい方がいたら、財源の確保を含め協議を進めていきたい。

## 特別支援教育支援員配置

**問** 現在の人員数ではないが、教育支援員を確保する施策の実施状況は。

**答** 支援を必要としている児童や生徒が多くなる中で、個人の特性の強さ等にに応じて個別に支援して

いる。支援員の確保は課題と捉えており、協議を進めている。国や県の補助を活用するほか、支援員の加配についても継続して要望を行う。

## 部活動地域移行推進協議会

**問** 地域移行を見据えた取組を行う方向性を確認できたところだが地域移行はできていないのか。

**答** 現在、新人チームでの活動で合同チーム、地域移行のチームとして大会に参加。学校を超えての部活動の参加についても実現している。来年度を見越した受け皿の確保、外部指導者の確保、財政的な支援等協議を進めていく。

## 国民健康保険事業

**問** 国保税の不納欠損額や収入未済額が増加しているが対応は。

**答** 3年前からの新型コロナ感染による経済活動の縮小で、不納欠損額が増加している。収入未

済額は、物価高騰での生活困窮による未納が増加している。対応は、軽減措置や納税者に丁寧な説明し無理のない徴収に努めている。

**問** 国保基金の一部で国保税の減免は。

**答** 負担の公平性から考えていない。

## 議案審議

### 釜石線利用促進事業

**問** 本年度が折返しとなる半年が過ぎていく。このタイミングで予算計上をし、限られた時間の中で有効な施策や事業を行えるか。

**答** 昨年度も県の補助を受けて実施している。昨年度より、沿線自治体が一体となって事業を実施することで協議を進めており、その調整に時間を要した。より高い効果をもたらせるように、来年度に向けてできるだけ早期の協議を進めたい。

## 釜石港振興事業

**問** 釜石港の管理者は岩手県だ。提案された釜石港振興事業費は港湾管理者が負担すべきものではないのか。

**答** 企業が整備し所有することにより、コンテナターミナルの安定運営と定期航路の維持を図り、釜石港の利用促進による産業振興と企業誘致、さらには地域振興を推進していくために、更新に必要な費用に対して補助するものだ。

釜石市議会では、本会議等のライブ配信及び録画配信を行っております。

検索 釜石市議会 youtube



## 請願審査

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2025年度政府予算に係る意見書採択を求める請願書

### 審査の経過

本請願は、小中学校現場の慢性的な教員不足により、子供たちが抱える課題対応に支障をきたしていることから、地方自治体が計画的に教育行政を進められるように国に対して意見書の提出を求めるものです。

採択意見は、文科省の政策では効果が薄いことや、学級編成基準見直しの教職員定数増及び加配削減中止が地域格差の解消に繋がること。一方、不採択意見は、少人数学級は市内の現状から乖離があることや、令和7年度政府予算編成は概算要求が締め切られている等が挙げられ、委員会では不採択とすべきとしました。

### 結果

↓ 起立多数で採択

## 民生常任委員会

令和6年7月16日、釜石市社会福祉協議会との意見交換会を実施しました。

社会福祉協議会からは、児童館と学童育成クラブについて、生活困窮者自立支援事業について、林福連携による福祉就労事業について、財政状況について、民生委員の配置状況についての説明がありました。

児童館について、上中島児童館では今年度から健全育成型の施設として運営され、今後は利用促進のための企画運営や交流活動にかかる予算の確保が課題であることが示されました。

委員からは、会員の減少や財源不足が活動に影響しているのではないかなど、意見が出されました。

高齢化の進む本市において社会福祉協議会の担う役割が今後増すことから、継続的に意見交換を行い、福祉行政の課題解決に向けて検討してまいります。

## 「市民と語る会」でみなさまから出されたお話

(議会改革特別委員会)

甲子地区地域会議のみなさんとA班(遠藤、井筒、佐々木義、古川、佐々木聡、工藤)

大松小学校の体育館の修繕卓球など多くの利用者がある。老朽化しているため修繕してほしい。

企業誘致と市議会議員 釜石には働く場所がない。人口増加にも繋がるためぜひ企業誘致を進めてほしい。議員の候補となる人が少ない。もっと議会を盛り上げてほしい。

町内会の防犯灯 電気代の支出が大きく大変だ。防犯灯税を導入してはどうか。

空き家対策 町内の空き家が相当数ある。ハクビシンの住居となったり、雑草が自宅に伸びてきたりと困っている。

ほかに、町内会の解散、水産業、釜石線の存続、世界遺産が話題に上がった。(令和6年8月6日/松倉地区消防コミュニティセンター)

栗橋地区地域会議のみなさんとB班(磯崎、細田、佐藤、菊池、千葉)

鳥獣対策 シカは地元の奮闘でかなり減少したが熊やイノシシが増えており、被害が増えている状況にある。

医療環境 釜石市の医療は話にならない。議員には安心して暮らせるよう活性化に向けて本腰を入れて頑張ってください。

地域おこし協力隊 市は、イベントの時だけの支援ではなく、日常的に相談にのるなど親身になって面倒をみて欲しい。若者が来ているのに定住に繋がるリアルな動きを担当部署は行っていないのではないかと。

釜石市社会科副読本 議員に読んでいただき、これで良いのか考えて欲しい。

ほかに県道35号線(笛吹峠)の整備、地域会議の在り方等についても話題に上がった。(令和6年7月22日/橋野ふれあいセンター)



甲子地区の様子



栗橋地区の様子

# 議会改革特別委員会

9月17日(火)に議会改革特別委員会の全体会が開かれました。これまでの理事会の概要報告や「市民と語る会」の振り返りと今後の方針について、また議会改革特別委員会ロードマップの進捗状況について委員長から説明がありました。

出席委員からは「市民と語る会」で、市民からの声にどのように回答していくか、またテーマを設けて開催してみてもどうか等、今後の開催方法や方針について議論しました。

また、10月3日(木)に議会改革特別委員会の理事7名が、行政視察として一関市議会に伺いました。釜石市議会からは、現在一関市議会での議会改革の内容や、議員報酬引き上げの議論等の質問が出されました。一関市議会からは、特に改革で力を入れたのは議会だよりで、市民の皆さんに手に取ってもらえるよ

うりリニューアルしたこと、声を上げにくい議員報酬の引き上げは、次に議員になる方のためには上げることが市民に説明し、反対意見が出なかつたことなどが説明されました。



## 陳情

■ 母(王乖彦)が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情

■ 戦災資料館の再建と艦砲戦の全容説明・犠牲者認定を推進することを求める陳情書

※本会議において報告し、出席した議員、職員に陳情の要旨を記載した文書表を配布しました。

# 議会の動き

- 7月・・・
- 22 議会改革特別委員会理事会
- ・市民と語る会(B班・栗橋地区)
- ・会派代表者協議会
- 8月・・・
- 6 市民と語る会(A班・甲子地区)
- 21 会派代表者協議会
- 23 議会改革特別委員会理事会
- 26 議会運営委員会
- 28 会派代表者協議会
- 30 議会運営委員会
- 9月・・・
- 2 9月定例会(25日)
- ・民生常任委員会
- ・議会だより編集特別委員会
- 4 議会改革特別委員会理事会
- 5 民生常任委員会
- 6 会派代表者協議会
- 11 総務常任委員会
- 13 民生常任委員会
- ・経済常任委員会
- ・議会運営委員会
- 17 議会運営委員会
- ・議会改革特別委員会
- 19 議会運営委員会
- 20 議会運営委員会
- 24 議会だより編集特別委員会
- 25 会派代表者協議会
- 10月・・・
- 1 議会だより編集特別委員会
- 2 議会運営委員会
- 3 議会改革特別委員会理事会
- (一関市議会への行政視察)
- 9 議会だより編集特別委員会
- 11 議会運営委員会
- 15 議会だより編集特別委員会

議会だよりでは随時表紙写真を募集中です。

★応募先  
gikaijimu#city.kamaishi.iwate.jp  
(#を@に)

応募要項と詳細は→



▼南海トラフ地震想定震源域での関連性が疑われる地震から、防災意識の高まりによる令和の米騒動や、台風により被災した地域もあった夏でした。

▼当市の抱える課題の多さが議員の仕事量であり、一つでも多くの課題を減らすよう、公平な視点で緊急度の高い課題から解決に取り組みます。

▼議会だよりでは議員の活動をお伝えし、一人でも多くの方に手に取っていただけるよう改善してまいります。

(佐藤 記)

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 佐々木 義昭 |
| 副委員長 | 細田 孝子  |
| 委員   | 井筒 健太郎 |
|      | 菊池 秀明  |
|      | 佐藤 憲弘  |
|      | 深澤 秋子  |
|      | 村田 信之  |